

令和3年度事業報告

令和3年度については、東京オリンピック・東京パラリンピックが1年遅れで開催され、世界各国から大勢の外国人観光客が日本を訪れ、人々は東京はもとより全国に広がり、そして本県にも多くの外国人観光客の来県が期待され、山形県の観光と物産を全世界の皆様で紹介できる記念すべき年になる予定でありました。しかし、残念ながら新型コロナウイルス感染症が収束せず、結果的には外国人の入国は規制され、更にはオリンピック、パラリンピックともに無観客での開催という残念な結果となってしまいました。

また、新型コロナウイルス禍は、3年目に入ってもなお変異株による渦中にあり、山形県でも、感染力が強いオミクロンB.A.2系統への置き換わりが進み依然として収束を見通せない状況にあり、国及び県独自の各種キャンペーンや複数の支援対策が講じられたものの、本県の観光、物産、交通、飲食、サービス及び製造業等各業界の停滞が続き、協会の会員にとってもこれまで経験したことのない大変厳しい年となりました。

このような中、当協会の観光振興部門においては、DMO登録法人（地域連携DMO）として、県内関係諸団体と連携し「公益社団法人山形県観光物産協会日本版DMO形成・確立計画評価検証委員会」を開催。また、観光地域づくりを担う法人として、新型コロナウイルス感染症による被害状況及び国、県等への要望調査を実施し、事業のキャンセル状況や要望事項等を取りまとめ、国及び県等への要望活動を行いました。

また、山形県の観光誘客緊急対策事業として、県内の宿泊施設、観光立寄施設、旅行会社及び交通事業者等を支援する9事業を県の補助事業として実施いたしました。なお、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない為、うち1事業については、令和4年度においても継続事業となりました。

国内誘致事業については、当初計画していた首都圏等へのキャンペーン事業等は新型コロナウイルス感染症の拡大によりほぼ実施できない状況でしたが、教育旅行誘致を中心に、オンライン等を活用した商談会やセミナー等に参加して誘客活動を展開しました。また、外客誘致事業についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で現地訪問等の活動はかなわなかったが、新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、台湾については、山形と台湾の学校間で相互交流促進を図るオンライン交流を実施し、韓国については、現地の情報発信員を通じて韓国の情報収集及び本県の観光と物産の情報発信に努めました。

物産振興部門においては、物産振興の柱である「山形県の観光と物産展」8会場中、主力の三越日本橋本店展及び名鉄百貨店本店展等4会場が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止となり、また、「東北6県の観光と物産展」等についても同様に軒並み中止となり、前年に比べ若干増えているものの新型コロナウイルス禍前に比べ約半

数の開催となりました。対面販売が厳しい中、当協会独自のインターネット通販サイト「とっておきの山形」のPayPay モール店の開設や新型コロナウイルス感染対策としての特別応援セール及び斡旋事業の新規開拓等により、山形県の豊かな食や優れたものづくりと技術力の情報を発信するなど県産品の紹介及び販路の拡大を進めました。

I 観光振興部門（公1：観光振興事業）

1 DMO推進に関する事業

観光地域づくりの舵取り役である地域連携DMOとして、県内関係諸団体と連携を図り「公益社団法人山形県観光物産協会日本版DMO形成・確立計画評価検証委員会」を開催し、令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について説明したほか、着地型旅行商品販売状況調整及びKPIの報告を行うとともに、コロナ禍における観光地域づくりについて意見を交わした。

併せて、新型コロナウイルス感染症による被害状況及び国・県等への要望調査を実施し、会員の事業キャンセル状況や要望事項等を取りまとめ要望活動を行った。また、県内の宿泊事業者、観光立寄施設、料亭、旅行会社、バス・タクシー事業者を支援する需要喚起キャンペーンを実施した。

(1) 会議の開催等

① 形成・確立計画評価検証委員会会議（オンラインによる開催）

開催日：令和3年 9月14日（火）

② 形成・確立計画評価検証委員会ワーキンググループ会議

開催日：令和3年11月 9日（火）

会 場：山形国際ホテル

③ 着地型コンテンツ造成状況調査の実施

実施日：令和3年 8月11日（水）～24日（火）

(2) 研修事業等

① 東北観光推進機構主催 「第6期フェニックス塾」への参画

第1、2回開催日：令和3年 9月17日（金）入塾式（欠席）

会 場：岩手県盛岡市

第3回開催日：令和3年10月15日（金）、16日（土）

会 場：秋田県大曲市 ルネッサンスガーデンプラザ杉の子

第4回開催日：令和3年11月12日（金）

会 場：新潟県新潟市 コープシティ花園

第5回開催日：令和3年12月10日（金）

会 場：青森県青森市 青森市観光物産開館アスパム

第6回開催日：令和4年 1月13日（木）、14日（金）

会 場：山形県天童市 ほほえみの宿 滝の湯
第7回開催日：令和4年 2月10日（木）

会 場：宮城県仙台市（オンライン）
第8回開催日：令和4年 3月14日（月）修了式
会 場：宮城県仙台市 メトロポリタン仙台

② 観光庁主催「地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修」の実施

共 催：山形観光アカデミー、山形県教育旅行誘致協議会
開 催 日：令和4年 2月 8日（火）13:00～16:00
会 場：ホテルメトロポリタン山形 5階「はやま」
講 師：全国通訳案内士 2名
受 講 者：16名（会場：4名、オンライン：12名）

③ 県内学校への取組み支援・協力

山形県東高等学校（山形市）及び九里学園高等学校（米沢市）が行う「探究活動」や「SDGs」への取組みに対しアドバイス等の支援・参加協力を行った。

ア 山形東高校「探究塾」

開催日：令和3年7月5日、7月21日、11月11日、令和4年2月3日

イ 九里学園高等学校「地域との協働による研究成果発表会」

開催日：令和4年1月19日

(3) 新型コロナウイルス感染症による被害状況及び国・県等への要望調査

会員の新型コロナウイルス感染症の被害状況を調査し、県旅館ホテル生活衛生同業組合と連名で県へ要望活動を行った。

① 被害状況及び国・県への要望調査

第四次調査：令和3年 6月24日（木）～30日（水）

第五次調査：令和4年 1月14日（金）～19日（水）

② 国・県等への要望活動

第六次要望：令和3年 5月31日（月）

第七次要望：令和3年 7月14日（水）

第八次要望：令和3年 9月 2日（木）

第九次要望：令和4年 1月26日（水）

第十次要望：令和4年 3月15日（火）

(4) 山形県観光誘客緊急対策事業の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大で大きな影響を受けている山形県内の宿泊施設、観光立寄施設、旅行会社等を支援する事業を行った。

① 新・県民泊まって応援キャンペーン

県民泊まって応援キャンペーンを有効期限までに利用されなかった当選割引クーポン前払金を活用し、宿泊施設において新たに宿泊割引クーポンを発行する事業

事業内容：10,000円以上の宿泊プランへの支払いの際に、5,000円の割引

利用期間：令和3年 1月26日（火）～令和3年12月31日（金）

利用実績：17,587枚

＜県民泊まって応援キャンペーン総利用枚数：49,341枚／

総発行枚数：50,000枚、利用率98.7%＞

② 県民県内お出かけキャンペーン

県内観光立寄施設等の利用を促進し経済の活性化を促すため、県民が観光立寄施設等で利用できるクーポンを発行する事業

事業内容：観光立寄施設等で利用可能な2,000円分のクーポンを1,000円で発行

利用期間：令和2年 5月15日（金）～令和3年12月31日（金）

利用実績：

施設販売型 : 28,979枚(対象356施設、クーポン発行：30,000枚)

旅行会社販売型：15,030枚(対象327施設、クーポン発行：16,784枚)

総利用枚数 : 44,009枚／総発行枚数46,784枚、利用率94.1%

③ 県民泊まって元気キャンペーン

「県民泊まって応援キャンペーン」に続き、県民が県内宿泊施設で利用可能なクーポンを発行することにより、観光消費の更なる拡大及び県内経済の活性化を図る事業

事業内容：県民が県内宿泊施設で利用可能なクーポン1,000円分を500円で発行（1人1回あたり最大10枚（額面10,000円、実質5,000円割引）まで利用可能）

利用期間：令和2年 7月10日（金）～令和3年12月31日（金）

利用実績：

宿泊施設発行型：595,542枚(販売率：88.9%、発行枚数：670,000枚)

旅行会社発行型：983,499枚(販売率：86.5%、発行枚数：1,136,432枚)

総利用枚数 : 1,579,041枚／総発行枚数1,806,432枚、利用率87.4%

④ 県民泊まってお出かけキャンペーン事業

山形県民及び隣接県在住者の宿泊施設や観光立寄施設等の利用により観光需要を喚起して、県内経済の活性化を促す事業

事業内容：

A 県内宿泊施設に宿泊する際の割引を実施

（宿泊代金の1/2、上限5千円/泊）

B 県内日帰り旅行を行う際の割引を実施

（日帰り旅行代金の1/2、上限5千円/人旅行）

C 旅行期間中に地域の土産物屋や飲食店、交通機関等で利用できるクーポンを発行（2千円/人泊又は旅行）

※AとCまたはBとCのセットで実施

※4,000円以上の宿泊・日帰り旅行が対象

実施期間：

ア 県民泊まってお出かけキャンペーン

令和3年 4月 9日(金)から12月31日(金) 宿泊・旅行分まで

イ やまがた冬割キャンペーン

A：令和4年 1月 4日(火)から 3月31日(木) 宿泊分まで

B：令和4年 3月11日(金)から 3月31日(木) 旅行分まで

C：①Aの場合はチェックイン当日からチェックアウト当日まで

利用対象者：

ア 県民泊まってお出かけキャンペーン：山形県民

イ やまがた冬割キャンペーン：山形県民及び隣接県在住者

実績：クーポン原資分 執行額 3,770,918,000円

⑤ 山形県宿泊業緊急支援給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上げが落ち込んだ宿泊業等の経営を支援する給付金を交付する事業

給付金額：

客室数	給付基準額	認証施設加算額 ※1	重点措置対象区域加算額 ※2
1～29室	500,000円	50,000円	50,000円
30～99室	750,000円	75,000円	75,000円
100室～	1,000,000円	100,000円	100,000円

※1 「山形県新型コロナ対策認証制度」の認証を取得済みの宿泊施設の加算額

※2 まん延防止等重点措置対象区域内の宿泊施設の加算額

申請受付期間：令和4年 2月16日(水)～ 3月10日(木)

実績：470施設 給付総額 301,100,000円

⑥ 「バス・タク旅」やまがた巡り

県内貸切バス・タクシー、レンタカー並びに観光船の需要回復を促進し、県民の周遊と本県への観光流動の回復による県内経済の早期活性化を促す事業

事業内容：旅行会社が行う県内のバス・タクシーを利用した旅行商品の企画・

募集又は受注手配型旅行の取扱い、バス会社が行う受注型旅行の

運行、タクシー会社が行う観光タクシーの運行、レンタカー会社

が行う観光に利用するレンタカーの貸渡し及び旅客船会社が行う

観光船の運航に対する助成

利用期間：令和2年 7月 3日(金)～令和3年12月31日(金)

利用実績

助成金予算額 167,925,000円(事務費を除く。)

助成額総額 144,796,842円(104社、利用率86.2%)

<助成内訳>

・旅行会社(59社)	104,427,000円
・バス会社(20社)	23,133,900円
・タクシー会社(13社)	2,458,600円
・レンタカー会社(8社)	8,846,700円
・旅客船会社(4社)	5,930,642円

⑦ 山形県新型コロナ対策認証事業

新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいる飲食店や飲食部門を持つ宿泊施設などの事業者に対し、施設の取組状況を確認し、適正な事業者を山形県が認証する事業

県からの受託内容：

認証制度事務（申請受付、施設確認、認証ステッカー送付 など）

管理運営事務（事業の周知、発注者への状況報告 など）

認証施設数：4,050施設（令和4年3月31日現在）

⑧ 山形県ワーケーション商品開発支援事業

戸沢村観光協会及び蔵王温泉協会において、ワーケーション等に対応した旅行商品の造成と販売を行う予定であったが、首都圏における新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の適用によりモニターツアー参加が困難になり、事業実施ができなかった。

⑨ 観光立寄施設緊急支援事業費助成金事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光者数が減少し、厳しい経営状況にある観光立寄施設を対象に、ポストコロナを見据えた新たな需要となり得るマイクロツーリズムやワーケーション、ユニバーサルツーリズム等に対応する施設改修、それらのコンテンツ開発等を行うために必要な経費及び新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に必要な経費に対し支援する事業

事業内容：助成対象経費の2/3（上限：1施設65万円）

助成期間：令和3年10月25日（月）～令和4年1月31日（月）

助成金予算額 264,000千円

助成金総額 49,051千円(127社、執行率18.6%)

⑩ やまがた文化応援キャンペーン「料亭クーポン事業」

新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けている料亭文化を守るため、各施設で利用できるクーポンを発行する事業

事業内容：県民が県内の料亭及び料理屋で利用可能なクーポン500円分を400円で発行（一人当たり最大10枚（額面5,000円、実質1,000円割引）まで利用可能）

利用期間：令和3年11月19日（金）～令和4年2月28日（月）

実績：6,642,700円

(5) 山形県立山形工業高等学校と台湾・国立新竹高級工業職業学校のオンライン交流の促進

令和2年度にオンライン姉妹校の締結を行った両校による山形と台湾の相互交流促進を図るオンライン交流が実施された。

また、交流に先立ち10月26日に生徒に対して台湾の文化等を伝えるため、事前学習の講義を当協会台湾連絡事務所が行った。

オンライン交流日：令和3年11月10日（水）

2 誘客推進事業

(1) 国内誘客事業（公1）

① 教育旅行誘致事業

新型コロナウイルス感染症により、当初計画していた誘致活動等がほぼ実施できない状況であった。このような中ではあるが、「探求」「SDGs」を主軸にプログラムを作成、オンライン等を活用した商談会等にして本県の取組みについて紹介したほか、山形県教育旅行誘致協議会会員を対象とした研修会を行った。

ア 教育旅行誘致活動

a 仙台市内旅行会社

オンラインや電話による本県教育旅行の提案

b 北海道教育機関等

訪問先：北海道教育庁、北海道運輸局、北海道観光振興機構

c 首都圏旅行会社

東北観光振興機構主催の東京セミナーにおいて旅行会社へのプレゼンを実施

d 関西旅行会社

訪問先：大阪府、兵庫県内の大手旅行会社13社

e 北関東旅行会社

訪問先：群馬県、茨城県、栃木県の手旅行会社14社

イ 商談会等への参加

東北観光推進機構主催の「東北教育旅行セミナー」において本県教育旅行誘致プレゼンテーションを実施

対象：学校関係者及び旅行会社の教育旅行担当者

開催日等：令和3年 7月 6日（火） 北海道セミナー

12月 9日（木） 首都圏セミナー

12月15日（水） 近畿圏セミナー

6月 3日（木） 第1回オンラインセミナー

8月23日（木） 第2回オンラインセミナー

ウ 教育旅行誘致並びに受入態勢整備への支援

教育旅行誘致協議会会員が実施する誘致事業及び受入整備事業に助成し、各地域での活動の活性化を図った。

エ 農家民宿及び農家民泊を活用した体験型教育旅行の意見交換会の開催

コロナ禍における受入対応状況の説明や旅行会社、学校側が地域に求めるもの等の意見交換を行った。

開催日：令和4年 1月19日（水）

会場：ホテルキャッスル

参加者：首都圏旅行会社3名、教育旅行誘致協議会会員8名

オ 教育旅行研修事業の実施

開催日：令和3年11月25日（木）

会場：天童温泉 ほほえみの宿「滝の湯」

参加者：81名

【第1部】基調講演

演題：「観光の持続可能性と革新」

講師：山形観光アカデミー学長/国連世界観光機構駐日事務所代表/
観光庁参与/東武トップツアーズ取締役会長 本保芳明氏

【第2部】パネルディスカッション「これからの観光人材の育成・活用」

パネリスト：山形観光アカデミー学長/国連世界観光機構駐日事務所代表/
観光庁参与/東武トップツアーズ取締役会長 本保芳明氏
：ほほえみの宿滝の湯代表取締役社長 山口敦史氏
：山交観光株式会社代表取締役社長 寺崎拓路氏

カ 新規教育旅行実施に伴う助成事業

山形県への教育旅行の継続と定着化を図るため、新規教育旅行を行う事業者等に対し助成

延宿泊数：4,219名（前年対比：153%）

キ 情報発信事業

a 日本修学旅行協会発行「月刊教育旅行」（12月号）にて、「冬の教育旅行～雪国ならではの体験プログラム～」特集記事の原稿執筆並びに広告掲載

b 宮城県のフリーペーパー「河北ウィークリーJr」9月15日秋号に、本県の教育旅行誘致の広告掲載を行った。

② 医療ツーリズム推進事業（重粒子線がん治療患者等宿泊助成事業）

山形大学医学部において、北海道・東北では初となる重粒子線がん治療装置によるがん治療が開始されたことにより、県外からも多くの患者及び家族の来県が見込まれることから、本県の豊かな温泉や食をPRするとともに、将来的に山形県ならではの医療ツーリズムの確立に向け、県内の宿泊施設で使える5,000円の宿泊助成を実施するとともに、利用者に対し、アンケート調査を实

施し、将来の医療ツーリズムの基礎資料を収集する事業

受付期間：令和3年 9月 1日（水）～令和4年 2月28日（月）

実績：6名（4組）30,000円

③ 観光キャンペーン推進事業

コロナ禍の影響により、県並びに観光キャンペーン推進協議会等他団体との連携による誘客キャンペーンが休止となった。

④ アンテナショップでの誘客宣伝（県委託事業）

東京中央区銀座の本県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」で観光案内、観光情報提供業務を行い、首都圏からの誘客に努めた。

○ 観光案内相談件数 3,394件（前年対比：129.9%）

⑤ 山形ファンクラブの管理運営（県委託事業）

山形ファンクラブ会員 30,726人（令和4年3月31日現在）

（前年対比：102.8%）

ア 山形ファンクラブ会員限定 オンライン料理トークライブ

実施時期：令和4年2月15日

コロナウイルス感染拡大により、ファンクラブ会員限定の「お料理トークライブ」を開催した。メルマガやホームページ等で参加者を募ったところ、当日は23名の参加があった。参加者には県産ワインや県産酒と併せてライブで紹介するメニューの特性レシピブックをプレゼントするとともに、アルケッチャーノコンチェルトのシェフに御協力をいただき、山形ならではの食材を使用したメニュー3品を紹介した。

イ メールマガジンの発行による情報提供 年14回発行（臨時号含）

⑥ 地域資源活用交流促進事業（県補助事業）

戦国武将をモチーフに、本県の歴史・文化・物産等を情報発信し観光誘客を図る「やまがた愛の武将隊」を支援した。

(2) 外客誘致事業（公1）

年間を通して台湾と韓国に情報発信員を配置し、現地情報の収集に努めるとともに、本県の観光と物産の情報を発信した。

(3) 日本一さくらんぼ祭り事業 中止

(4) 山形県スキー場誘客推進協議会事業（公1）

加盟する県内8箇所のスキー場を中心に、誘客宣伝を展開してきたが、新型コロナウイルスの影響により観光地への自粛等、スキーヤーの大幅な減少となった。

○会員：米沢、天元台、ライザ、蔵王温泉、天童高原、赤倉温泉、湯殿山、

月山の索道11団体及び関係7市町、4観光団体（22会員）

(5) 観光ボランティアガイド支援事業（公1）

県内4地域（置賜、村山、最上、庄内）の協議会と49団体が加盟する全県組織である山形県観光ボランティアガイド連絡協議会の事務局を担いながら、各団体と連携しボランティアガイドのスキルアップを図った。

3 観光人材の育成と組織強化等

(1) 観光人材養成事業（公1）

県内観光関係従事者の資質向上を図る人材養成団体や郷土文化を保存継承する団体を支援した。

- ① 山形観光アカデミー
- ② 山形舞子
- ③ 酒田舞娘

(2) 山形県観光物産事業功労者の表彰（公1）

県内広域観光団体の推薦により、本県の観光物産振興に功績のあった個人・団体を表彰した。

- ① 大山 るり子（天童市）
 - ② 五十嵐 幸一（尾花沢市）
 - ③ 高橋 雄一（新庄市）
 - ④ 高橋 眞（飯豊町）
 - ⑤ 目黒 憲夫（長井市）
- 以上5個人

(3) 山形県奥の細道観光資源保存会事業（公1）

本県を代表する観光ルートとして定着している「奥の細道」を更にPRし、誘客を図るため、首都圏イベント等への支援など、誘客宣伝活動を展開するとともに、標柱や看板の補修、環境美化事業を支援した。

(4) やまがた女将会事業

県内温泉地の旅館女将で組織する「やまがた女将会」の事務局を担い、県や観光団体等と連携し、本県の観光PRを実施した。また、会員相互の研鑽を図るための研修会の開催を支援した。

会議・研修会等の開催

- ① 役員会 年2回開催
- ② 総会

7月 7日（水）令和2年度事業報告及び決算、役員改選、令和3年度事業計画並びに予算について

研修会「特別後援」

演 題：山形県のコメづくりの歴史と取り組み

講 師：田中順一（タナカ農産研究所所長）

- ③ 各種会議・団体行事等への協力及び公益事業等の実施
おいしい山形推進機構総会、ふるさと納税事業ほか

(5) 他団体との共同事業（公1）

日本観光協会及び東北広域観光推進協議会へ共同事業負担金を拠出した。

4 情報提供事業（公1）

(1) ホームページ「やまがたへの旅」情報発信事業

山形県の公式観光サイトとして常に新しい情報を提供するとともに、コロナ禍における旅行ニーズ等に対応した新規コンテンツやモデルコースの造成を行った。

○アクセス件数（ネット、モバイル）： 3, 4 5 9, 5 1 7回（前年比 144.8%）

(2) 観光データ提供事業

県内各地から旬の情報を収集し、本部、支部の各情報センターに加え、県内外のサービスステーションでの情報提供により観光誘客に努めた。

5 やまがた観光情報センター管理運営事業（県指定管理事業：公1）

霞城セントラル1階において、県内外の観光客への情報発信や観光相談を行う「やまがた観光情報センター」の管理運営を行った。

また、観光庁から令和4年1月7日に「観光施設における心のバリアフリー施設」の認定を受けるとともに、心のバリアフリー推進員養成研修会やバリアフリー観光セミナー等を受講した。

さらに、観光情報の発信・各種展示、月1回行っている物産展「ハッピーフライデー」における山形県グリーンツーリズム推進協議会との連携事業等定期的にイベントを開催し、霞城セントラルアトリウム・旅の広場を有効活用し、コロナ禍の中、利用拡大に努めた。

(1) センター利用客数 : 5 6, 6 3 4人（前年比 80.9%）

(2) 案内件数 カウンター: 1, 3 5 2件（前年比 104.1%）

(3) 電話照会 : 1, 1 1 0件（前年比 30.8%）

II 観光事業部門（収：観光誘客促進事業、公1）

1 直営施設の管理運営（収）

やまなみ食堂及び蔵王駐車場用地の管理運営を行った。

2 観光施設整備融資事業（公1）

県内市町村の観光団体等を対象とした観光施設整備事業に対する融資事業の募集を行ったが、新規の利用は無かった。

Ⅲ 県外支部等の運営（公1：観光振興事業・公2：物産振興事業）

本県の観光と物産の情報発信基地として、東京、大阪、北海道及び名古屋各支部の運営を行った。また、韓国においては、現地の戦略的情報発信員との連携を密にして韓国における観光物産情報の収集と発信を行った。

Ⅳ 物産振興部門（公2：物産振興事業）

1 「山形県の観光と物産展」山形単県展の開催

山形県の観光資源や特産品、名産品を紹介宣伝し、誘客活動と県産品の販路拡大を促進することを目的に、実行委員会（近清剛実行委員会会長）を設置し「山形県の観光と産展」を下記のとおり実施した。

令和3年度は、新たに東武池袋店及び三越伊勢丹浦和店で「山形展」を開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響により4会場での観光と物産展が中止になった。

No	会場名	会期	来場者数	前年比	テーマ・イベント等
1	三越伊勢丹日本橋本店	(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)			
2	名鉄百貨店本店	(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)			
3	東武池袋店 (山形・宮城展)	6/30~7/5	※来客数 カウント なし	—	宮城県と連携し、本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取りそろえ県産品の紹介、宣伝。 お楽しみ抽選会
4	三越伊勢丹浦和店 (新規)	7/21~26	17,000人	—	本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取りそろえ県産品の紹介、宣伝。
5	三越伊勢丹立川店	10/27~11/1	18,000人	72%	「山形県の魅力再発見」洗練された食材、こだわりの味、職人技の光る歴史ある工芸品の紹介、宣伝。
6	東武池袋店(新規)	11/11~16	※来客数 カウント なし	—	本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取りそろえ県産品の紹介、宣伝。 お楽しみ抽選会
7	高島屋岡山店	(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)			
8	新宿駅西口広場	(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)			

2 当協会主催催事の開催及び百貨店等主催催事への出展

全国の百貨店等を会場に地下催事など当協会主催催事を開催するとともに、百貨店等が主催する「東北6県の観光と物産展」等の催事に出展し、県産品のPR、販路拡大に努めた。実施数は、新型コロナウイルス感染症の影響があり、前年比7箇所増に止まり新型コロナウイルス禍前の令和元年度と比べ53.8%となった。

○ 「東北6県の観光と物産展」等の催事実施数

エリア	実施数	前年比	主な会場
北海道	1カ所	100%	さっぽろ東急
東北	0カ所	0%	
関東	35カ所	121%	三越伊勢丹立川店、浦和店、京急百貨店他
中部	9カ所	300%	高島屋名古屋店、松坂屋静岡店、三越伊勢丹静岡店他
関西	4カ所	66%	高島屋京都店、近鉄百貨店他
中国	4カ所	80%	そごう広島店、福屋八丁堀店他
四国	1カ所	100%	いよてつ高島屋
九州	3カ所	60%	山形屋、鶴屋熊本、大分トキハ
計	57カ所	114%	

3 新規催事場の確保

県産品の紹介宣伝と販路拡大を図るため、首都圏の百貨店等に「観光と物産展」の企画、提案等を行った。

(1) 主な新規会場

- | | | |
|---------------------|-----|-----|
| ①三越伊勢丹浦和店（埼玉県さいたま市） | 山形展 | 7月 |
| ②東武池袋店（東京都豊島区） | 山形展 | 11月 |

4 新型コロナ対策事業（催事関係）

新型コロナウイルス感染症により県外での物産展等催事が開催できないなどの影響が出ていることから、新型コロナ対策事業として、県内スーパー等での移動販売等を実施した。

○ 移動販売（主なもの）等の実施状況

実施場所	実施日数	延出展社数
ショッピングプラザBEL（山辺店）※土日	5日	11社
イオン山形北店 ※土日	20日	20社
イオン山形南店 ※金土日	3日	12社
イオン天童店 ※土日、金土日	5日	6社
イオン仙台店 ※土日	2日	2社
イオン新利府店 ※土日	2日	2社

5 斡旋事業（卸事業）の推進

従来から取引している、三越伊勢丹百貨店、近鉄百貨店、東急百貨店等、令和2

年度に取引を始めた、(株)アイ・エム・シー、(株)柳生屋フーズに加え、新たに(株)高島屋ファーム等との取引により、全国の百貨店のグロサリー売場やスーパーマーケットで県産品の販売を行うとともに、三越伊勢丹の物産展「山形展」など最近活発化している百貨店オンラインサイトに開設されるWEB物産展への商品掲載を行い県産品の販路拡大に努めた。

- ・令和3年度斡旋先数 15社（団体を含む。）
- ・百貨店オンラインサイト 4社（短期開設も含む。）

6 ネット販売事業

当協会が運営する県産品の通販サイト「とっておきの山形」において、県産品のPRと販売促進を行った。

また、新型コロナ対策事業として、さくらんぼ販売応援セール等を実施した。

○ アクセス数、注文件数等

	令和3年度	前年比
アクセス件数	約216,500件	91%
注文件数	約1,720件	87%

- (1) 人気商品 県産米・果物、農産加工品
- (2) 出展商品数 約530商品
- (3) 出展事業者数 約250企業
- (4) 購入品の構成 米・フルーツ(25%)、肉・魚・農産加工品(28%)、菓子(21%)
味噌・醤油・漬物(14%)、蕎麦・麺類(2%)、民芸品等(2%)
飲料(4%)、酒・ワイン(4%)
- (5) 購入者居住エリア ①山形県(22%) ②東京都(19%) ③神奈川県(10%)
④埼玉県(8%) ⑤千葉県(7%) ⑥その他(34%)
- (6) 購入者の年代 ①40代(25%) ②30代(23%) ③50代(16%)
④60代(11%) ⑤70代(8%) ⑥その他(17%)

○ プロモーション企画

会員拡大と消費者の購入者意欲を高める為、ポイントキャンペーンとプレゼント企画を実施した。

- (1) ポイント5倍キャンペーン
 - ①8/20～9/21 県産米プレゼント
 - ②2/15～3/15 県産酒プレゼント
 - (2) ポイント8倍キャンペーン
 - ①11/15～12/15 餅プレゼント
- ※お買上げ1円につき1ポイント付与

○ 新型コロナ対策事業

- (1) さくらんぼ販売応援セール

- ①実施期間 令和3年5月14日（金）～6月9日（水）
- ②掲載企業数及び商品数 4社、22商品
- ③注文数 148件（前年対比35.7%）

○ とっておきの山形 PayPay モール店の開設

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面販売が厳しい中、新たに大手ECモール「Yahoo!ショッピング PayPay モール店」に出店し、全国に向けて県産品のPR、販売を実施した。

(1) 開店日 令和3年5月14日（金）

(2) ストア名 とっておきの山形 PayPay モール店

(3) 出品数 221品

果物（9）お米（15）菓子（29）麺（18）農産加工品（24）肉加工品（18）
漬物（7）醤油・味噌（9）飲料品（4）工芸品（8）ファッション（13）
コスメ（4）酒・ワイン（63）

7 研修会の実施

令和3年度の研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

8 東京アンテナショップイベントコーナーの運営

「おいしい山形プラザ」1階のイベントコーナーの貸出しを行い、県内市町村等が自ら行う催事の開催を支援するとともに、会員企業等による自社商品の直接対面販売を支援した。

東京アンテナショップ来店者数：501千人（前年比126.5%）

9 東北六県物産協会等連絡協議会への参加

令和3年度の東北六県物産協会等連絡協議会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

10 県内で開催された祭事での県産品PR

毎年実施している、陸上自衛隊第6師団、神町駐屯地年記念行事及び気仙沼さんま祭り in やまがた会場での県産品PRについては、両祭事とも新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり実施できなかった。